



高校野球のマナーとルールを学ぼう (第15回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えしていきます。

マナー編 むやみにラインを踏まない!

スリーアウトとなり、攻守交代の選手がファールラインを踏みつけている光景を時々見かけます。

本塁から両翼に伸びたファウルライン、ボックスやサークルなどを示すラインは大切なものです。プレイ中に踏むことはあっても試合停止時やインングの合間など、足で乱したり消したりすることのないよう気をつけなければなりません。フェアかファウルかの打球判定はもとより、特別な場所や範囲を示すルールの基本に関わっているからです。大リーグやプロ野球の中継でも、ラインをまたぐ時だけは小走りの歩幅を大きくする選手も見受けられます。丁寧に土を整え、規則書通りにラインを引くことから野球は始まっています。



「ラインの乱れは心の乱れ」と、日ごろから仲間の全員で学びの場を整備しましょう!

ルール編 リタッチのための帰塁はフォースプレイではない

一死走者三塁・一塁、打者の放ったライトへの大飛球を、背走した右翼手が好捕。三塁走者は正しくリタッチして本塁を踏みました。打球につられていた一塁走者は帰塁手前で一塁への返球でアウトの宣告…。守備側は「三死でチェンジ、無得点」と思いましたが、スコアボードには1点が表示されています。ダブルプレイなので「無得点」ではないのですか?

規則 4・09 は得点の記録を定めています。

(a) 三人アウトになってそのインングが終了する前に、走者が正規に一塁、二塁、三塁、本塁に進み、かつ、これに触れた場合には、そのつど 1 点が記録される。

【付記】 第三アウトが次のような場合には、そのアウトにいたるプレイ中に、走者(1, 2にあたる場合は全走者、3にあたる場合は後位の走者)が本塁に進んでも、得点は記録されない。

- (1) 打者走者が一塁に触れる前にアウトにされたとき。(6・05、6・06 参照)
- (2) 走者がフォースアウトにされたとき。(7・08e参照)
- (3) 前位の走者が塁に触れ損ねてアウトにされたとき。(7・10a、b、7・12 参照)

上記では、一塁走者のアウトがフォースアウトではないので【付記】には該当しません。したがって**アウトでインングが終了する前に、三塁走者が本塁に到達していたので、その得点は認められる**のです。

なお、本規則の【注一】には、「第三アウトがフォースアウト以外のアウトで、そのプレイ中に他の走者が本塁に達した場合、審判員は、その走者にアピールプレイが残っているか否かに関係なく、本塁到達の方が第三アウトより早かったか否かを明示しなければならない。」と規定されています。そのため、球審が三塁走者の本塁到達と、一塁走者の帰塁アウトのどちらが早いを見極めて得点を認めました。いわゆる「タイムプレイ」のケースです。

ルールの習熟と全カプレイを怠ると悔いが残ります。

